

## 2. 地域医療体制の充実

### 1 質の高い医療サービスの安定的確保の推進 1（救急医療体制の充実）

救急医療の特性を考慮し、救急医療を提供する趣旨から、初期・二次の救急医療体制を整備する。

少子・高齢化社会の進展に伴う疾病構造の変化や救急医療に対するニーズの複雑・多様化に伴う、救急医療体制の一層の充実・強化を行う。

#### (1) 初期救急医療体制の整備

（昭和 58 年度開始 平成 31 年度予算：146,475 千円 一部県補助）

宇都宮市夜間休日救急診療所の運営

##### 【事業の目的・内容】

休日や夜間における急病患者の救急医療を確保するため、初期医療体制として、宇都宮市夜間休日救急診療所を開設する（昭和 58 年 4 月開設）。（公財）宇都宮市医療保健事業団が指定管理者として救急診療所の管理運営を行う。

根拠法令等	主管課・グループ
救急医療対策事業実施要綱(昭和 52 年 07 月 06 日医発第 692 号) 宇都宮市夜間休日救急診療所条例 宇都宮市夜間休日救急診療所施行規則	総務課企画グループ

##### ・診療科目及び診療時間

区分	診療日		診療時間	開設日数
昼間	医科 歯科	日曜, 祝祭日, 国民の休日	午前 9 時～午後 5 時	74 日
		旧盆 (8/ 13, 14, 15)		
		年末年始 (12/ 30～1/ 3)		
夜間	医科	毎日	午後 7 時 30 分～翌朝午前 7 時	365 日 (閏年は 366 日)
	歯科	毎日	午後 7 時 30 分～午前 0 時	

《実績》

利用状況（患者数）

	内科	小児科	歯科	その他	合計
H17 年度	12,609 人	17,527 人	3,401 人	1,691 人	35,228 人
H18 年度	12,774 人	18,061 人	3,355 人	1,921 人	36,111 人
H19 年度	12,535 人	16,583 人	3,261 人	2,722 人	35,101 人
H20 年度	12,617 人	16,037 人	3,135 人	2,845 人	34,634 人
H21 年度	15,975 人	21,066 人	3,149 人	2,553 人	42,743 人
H22 年度	13,976 人	18,423 人	3,218 人	3,033 人	38,650 人
H23 年度	13,800 人	17,958 人	3,137 人	2,656 人	37,551 人
H24 年度	15,891 人	17,051 人	3,539 人	2,596 人	39,077 人
H25 年度	15,076 人	17,554 人	3,577 人	2,846 人	39,053 人
H26 年度	15,771 人	16,617 人	3,365 人	2,586 人	38,339 人
H27 年度	14,026 人	16,627 人	3,528 人	2,560 人	36,741 人
H28 年度	14,760 人	16,480 人	3,110 人	2,158 人	36,508 人
H29 年度	13,939 人	14,630 人	2,848 人	2,236 人	33,653 人
H30 年度	13,974 人	13,354 人	2,803 人	2,075 人	32,206 人

[参考]

後方支援病院の確保

【事業の目的・内容】

初期救急医療の後方支援体制を強化するため、小児科については済生会宇都宮病院において1日あたり2床、内科については宇都宮記念病院ほか3医療機関において1日あたり1床を確保する。

- ・後方支援病院 (小児科) …済生会宇都宮病院  
(内科系) …宇都宮記念病院, 柴病院, 高橋内科胃腸科外科歯科(H26まで), 宇都宮東病院, 宇都宮第一病院 (H27から)

《実績》

夜間休日救急診療所からの後方支援病院への転送状況

	済生会	宇記念	柴	高橋内科	宇都宮東	宇第一	合計
H20 年度	0人	30人	5人	7人	3人	-	45人
H21 年度	75人	31人	1人	8人	1人	-	116人
H22 年度	39人	6人	2人	7人	5人	-	59人
H23 年度	4人	3人	3人	4人	5人	-	19人
H24 年度	16人	0人	2人	5人	4人	-	27人
H25 年度	15人	0人	0人	1人	2人	-	18人
H26 年度	6人	5人	0人	1人	2人	-	14人
H27 年度	8人	12人	0人	-	4人	7人	31人
H28 年度	11人	10人	1人	-	4人	9人	35人
H29 年度	2人	-	-	-	-	3人	5人
H30 年度	4人	0人	0人	1人	4人	1人	9人

(2) 二次救急医療体制の整備 (病院群輪番制病院・協力病院等の運営)

(昭和55年開始 平成31年度予算: 120,885千円 一部国・県補助あり)

【事業の目的・内容】

入院治療を必要とする救急患者が、夜間及び休日においても安心して必要な医療を受けることができるよう、関係者で構成する「宇都宮市救急医療対策連絡協議会」において、救急医療体制の充実強化に向けた検討を行うとともに、病院群輪番制病院や協力病院等の運営費等を支援する (平成21年6月1日運営開始)。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
救急医療対策事業実施要綱 (厚生労働省医政局) 二次救急医療体制運営に関する協定書 栃木県救急医療施設運営費等補助金交付要領 宇都宮市救急医療体制運営費補助金交付要綱	総務課 地域医療グループ

・実施医療機関数及び診療科目等

区 分	実施医療機関数	診療科目	診療日及び診療時間
病院群輪番制病院	済生会宇都宮病院	内科及び 外科系	平日 午後 6 時から 翌日午前 8 時 30 分まで  休日
	NHO 栃木医療センター		
	JCHO うつのみや病院		
	NHO 宇都宮病院		
	宇都宮記念病院		
協力病院	宇都宮第一病院	実施診療 科目	休日 ・日曜, 祝祭日, 国民の 休日 ・旧盆 (8/13, 14, 15) ・年末年始 (12/30~1/3)  午前 8 時 30 分から 翌日午前 8 時 30 分まで
	宇都宮南病院		
	佐藤病院		
	柴病院		
	鷲谷病院		
	倉持病院		
	宇都宮中央病院		
連携病院	藤井脳神経外科病院		
協力診療所	富塚メディカルクリニック		
	根本外科胃腸科医院		
連携診療所	宇都宮脳脊髄センター		

《実績》二次救急医療機関の救急患者数等状況（平成 30 年度）

区 分	救急隊からの患者受入れ要請件数			救急搬送 患者数
		うち, 患者 受入れ件数	受入率 (%)	
病院群輪番制病院	4,996 件	4,182 件	83.7 %	4,180 人
協力病院	1,479 件	760 件	51.4 %	771 人
連携病院	264 件	154 件	58.3 %	154 人
協力診療所	115 件	62 件	53.9 %	63 人
連携診療所	40 件	14 件	35.0 %	14 人
合 計	6,894 件	5,172 件	75.0 %	5,182 人

※ 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月実績

(3) 小児救急医療体制の確保

(平成 14 年度開始 平成 31 年度予算 : 22,107 千円 県 2/3 市 1/3)

【事業の目的・内容】

夜間及び休日における入院治療を必要とする重症の小児救急患者の医療を確保するため、初期救急施設である宇都宮市夜間休日救急診療所に小児科専門医師を配置するとともに、小児救急医療を行う輪番制病院（済生会宇都宮病院，独立行政法人国立病院機構栃木医療センター，独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院）の運営費を支援する。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
救急医療対策事業実施要綱（厚生労働省医政局） 栃木県救急医療施設運営費等補助金交付要領 宇都宮市小児救急医療施設運営費補助金交付要綱	総務課 地域医療グループ

(4) 救急医療適正受診の促進 (昭和 63 年度開始 平成 31 年度予算 : 582 千円 市単独)

【事業の目的・内容】

二次救急医療体制の円滑な運営を確保するため、救急医療に関する正しい知識を市民に周知・啓発する。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
救急の日及び救急医療週間実施要綱	総務課地域医療グループ

《実 績》

① 救急の日記念講演会

年度	テーマ	参加者数
H18	「急に心臓が止まったら」 講師：獨協医科大学 救命救急センター長 崎尾秀彰 氏	150 人
H19	「家族が病気やけがで一刻を争う事態になったら」 講師：済生会宇都宮病院副院長・栃木県救命救急センター所長 小林健二 氏	100 人
H20	「市民に学んでもらいたい応急処置」 講師：自治医科大学 救命救急センター長・救急医学教授 鈴川正之 氏	150 人
H21	救急医療を守り育てるシンポジウム 開催日時：平成 21 年 9 月 20 日 (日) 午後 1 時～午後 4 時 45 分 会 場：宇都宮市東コミュニティセンター ホール 実施内容：基調講演, AED 実演 講師：獨協医科大学 小野一之 氏 パネルディスカッション「上手に使おう救急医療」 ・コーディネーター 高橋 淳 氏 (下野新聞社宇都宮総局長・論説委員) ・パネラー 中村 勤 氏 (宇都宮市保健福祉部次長兼保健所長) 鈴木 誠一 氏 (宇都宮市消防本部救命救急士) 小林 健二 氏 (済生会宇都宮病院副院長・栃木県救命救急センター長) 増田 典弘 氏 (独立行政法人国立病院機構宇都宮病院診療部長) 菊池 進一 氏 (宇都宮市医師会副会長) 大野 英雄 氏 (NPO 法人地域医療を育てる会理事)	170 人
H22	救急フェスタ ～どうしよう！子どもの急な病気やけが～ 開催日時：平成 22 年 9 月 5 日 (日) 午後 1 時～午後 4 時 30 分 会 場：とちぎ健康の森 実施内容：○「救急医療の標語」入賞作品表彰式 (応募総数 262 点) ○「小児救急に関する講演会」「ママの健康・子育て相談」「救急体験コーナー」	300 人
H23	救急の日・救急医療週間イベント 2011 開催日時：平成 23 年 9 月 17 日 (土) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分 会 場：宇都宮市保健所 実施内容：○災害時の救急医療に関する講演会 「3. 11 東日本大震災から学ぶ…そのとき、あなたならどうしますか？」 講 師：中央消防署 小杉 佳人 消防司令 ○消防音楽隊演奏 ○健康・医療相談コーナー ○救急体験コーナー	300 人
H24	救急の日・救急医療週間イベント 2012 開催日時：平成 24 年 9 月 29 日 (土) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 会 場：宇都宮市保健所 実施内容：○救急医療の適正受診に関する講演会 テーマ：「みんなで考えよう 救急医療の正しい受診の仕方」 講 師：栃木県救命救急センター長 小林 健二 先生 済生会宇都宮病院 救急診療科医長 宮武 諭 先生 ○夜間休日救急診療所見学ツアー ○救急体験コーナー 救急隊による応急手当講習, AED の実技体験	100 人

H25	<p>救急の日・救急医療週間イベント2013  開催日時：平成25年9月7日（土） 午後1時30分～午後4時  会場：宇都宮市保健所  実施内容：○救急医療の適正受診に関する講演会  テーマ：「お年寄りによくある事故や病気とその対処法」  講師：獨協医科大学 小野 一之 先生  ○健康医療相談 ○応急手当講習会  ○救急医療の適正受診や救急車の適正利用の普及啓発</p>	220人
H26	<p>救急の日・救急医療週間イベント2014  開催日時：平成26年9月14日（日） 午前11時～正午  会場：㈱福田屋百貨店FKDインターパーク店  実施内容：○救急医療トークショー  講師：済生会宇都宮病院 救急診療科医長 宮武 諭 先生  ゲスト：リンク栃木ブレックス 田臥 勇太 選手  進行：レディオベリーパーソナリティー 須賀由美子 氏  ○AED講習  講師：日本光電東関東㈱ 北村 秀仁 氏  済生会宇都宮病院：救急診療科医長 宮武 諭 先生  ゲスト：リンク栃木ブレックス 田臥 勇太 選手</p>	400人
H27	<p>救急の日・救急医療週間イベント2015  開催日時：平成27年9月12日（土） 午後1時30分～2時30分  会場：ベルモール  実施内容：○大事な救急，ダイジと学ぼう ○AED講習  講師：NHO栃木医療センター  感染アレルギー科医長 山口 禎男 先生  ゲスト：とちぎテレビ キャラクター  雷様剣士ダイジ，ひよごる，猿丸  進行：ラジオパーソナリティー 菊池 元男 氏  講師：宇都宮市東消防署職員</p>	400人
H28	<p>救急の日・救急医療週間イベント2016  開催日時：平成28年8月25日（木） 午後1時30分～午後3時  会場：宇都宮市保健所  実施内容：○基調講演「高齢者と救急医療」  講師：栃木県救命救急センター 宮武 諭 センター長  ○漫談「身を守る12の秘策」  演者：ご当地創作落語漫談師 田螺 踊理 氏  ○パネルディスカッション「考えよう，救急医療の正しい使い方」  出演：宇都宮市医師会 金子 達 副会長  栃木県救命救急センター 宮武 諭 センター長  宇都宮市保健所 上原 里程 所長  消防局警防課 石川 優 係長</p>	120人
H29	<p>救急の日・救急医療週間イベント2017  開催日時：平成29年9月3日（日） 午後1時30分～午後2時30分  会場：ベルモール1Fカリヨンプラザ（陽東）  実施内容：○トーク&amp;ショー「熱中症予防と応急処置」  講師：済生会宇都宮病院 藤井 公一 先生  ゲスト：御当地ヒーロー雷神ライサマーほか  ○講座 熱中症等の応急処置について  講師：済生会宇都宮病院 藤井 公一 先生，東消防署救急隊員  出演：雷神ライサマーほか</p>	380人

H30	<p>救急の日・救急医療週間イベント2018</p> <p>開催日時：平成30年9月8日（土） 午後1時30分～午後2時30分</p> <p>会 場：FKD宇都宮店 3階大催事会場前特設会場</p> <p>実施内容：○トークショー「スポーツ時のケガ・急病に対する救命救急」</p> <p style="text-align: center;">講 師：サイクルスポーツマネージメント(株)（宇都宮ブリッツェン運営会社）</p> <p style="text-align: center;">代表取締役 柿沼 章 氏</p> <p style="text-align: center;">済生会宇都宮病院 救急科 鯨井 大 先生</p> <p>○実演 「救命処置・応急処置」</p> <p style="text-align: center;">講 師：宇都宮市中央消防署 救急隊員</p>	400人
-----	--	------

## ② 救急受診の手引き 「市民みんなで支えよう救急医療」

区分	内 容
監修	<p>宇都宮市救急医療対策連絡協議会</p> <p>金子 達（市医師会 副会長）</p> <p>小林 健二（栃木県済生会宇都宮病院 院長）</p> <p>崎尾 秀彰（宇都宮記念病院 院長）</p> <p>羽金 和彦（NHO栃木医療センター 統括診療部長）</p> <p>福田 哲夫（市医師会 夜間休日診療部担当理事）</p> <p>藤川 日出行（JCHOうつのみや病院 副院長）</p> <p>増田 典弘（NHO宇都宮病院 診療部長）</p> <p>※（ ）書きの役職は平成29年12月現在のもの</p>
掲載内容	<p>子どもから高齢者まで幅広い年齢層に活用してもらえる以下の9項目を掲載</p> <p>①救急医療の現状 ②ふだんから心掛けること ③熱中症 ④子どもの病気 あわてず対処が基本です ⑤お年寄りによくある事故とその対処法 ⑥救急医療の仕組み ⑦症状に応じた救急車の利用を ⑧応急手当の仕方 ⑨AED設置施設マップ</p>

※平成22年3月に20万部を作成し、各家庭に全戸配布。

現在は公共施設の窓口やイベント等で配布、また転入者に対しては転入手続き時に窓口で配布。

## ③ 救急出前講座

- ・講座名称 「症状に応じた上手な救急医療の利用を！」
- ・内容 救急医療の現状，症状に応じた救急医療を利用するための知識の普及啓発
- ・講師 保健所総務課職員
- ・対象 市民
- ・受講者数 4回 74名（平成30年度）（平成29年度 4回 115名）

## ④ 救急探検ツアーの実施

- (ア) 日 時：第1回 平成30年7月23日（月） 午前8時30分～正午  
第2回 平成30年7月24日（火） ”  
第3回 平成30年8月3日（木）【台風の接近により中止】
- (イ) 会 場：第1回 市夜間休日救急診療所，済生会宇都宮病院，市中央消防署  
第2回 市夜間休日救急診療所，宇都宮記念病院，市中央消防署
- (ウ) 主 催：宇都宮市，宇都宮市救急医療対策連絡協議会
- (エ) 協力機関：社会福祉法人恩賜財団済生会支部栃木県済生会宇都宮病院  
公益財団法人宇都宮市医療保健事業団  
社会医療法人中山会 宇都宮記念病院  
独立行政法人国立病院機構栃木医療センター  
宇都宮市中央消防署

- (㊦) 実施内容：○宇都宮市夜間休日救急診療所：概要説明，施設内見学  
○栃木県済生会宇都宮病院  
：概要説明，救命救急センター及びヘリポート現場見学  
○NHO栃木医療センター：概要説明，医療機器等の体験・見学  
○宇都宮市中央消防署：概要説明，消防署内及び車両見学
- (㊧) 参加者：市内在住の小学3～6年生とその保護者等

⑤ 広報うつのみや9月号 救急車や医療機関の適正な利用方法に関する記事を掲載